



とうかえでⅡ 第19号

令和4年2月9日(水)
鳥栖市立鳥栖北小学校
校長 天野 雄二

鳥栖北小HP <https://www.education.saga.jp/hp/tosukita-e/>

TEL 0942-83-2296 FAX 0942-83-2709

2月になりました。寒い日が続きますが、お昼ごろは日が差し、上着を脱いで遊んでいる元気な子供たちを多く見かけます。なわとび大会が終わった学年から、遊びの内容がドッジボールや鬼ごっこに変わってきています。次の行事は「お別れ集会」です。少しずつ無理のないように練習をスタートしています。

☆新型コロナ感染症対策

保護者の皆様もご存知の通りですが、新型コロナ感染症が猛威を振るっています。鳥栖市内でも毎日40人ぐらいの感染者が出ています。最近の症状としては、発熱があり、喉の痛みがあるとのこと。お子様に風邪症状がありましたら、すぐに病院受診をお願いいたします。

さて、感染者が出た場合、次の3つの条件を全て満たしている人が濃厚接触者と指定されるそうです。

- ・マスクをしていない(鼻マスク、あごマスクも含む)
- ・1m以上離れていない
- ・15分以上同室内で過ごしていたか

鳥栖北小学校では、感染者が出た場合でも濃厚接触者とならないよう以下の対策を徹底しています。

①教室内の机の配置を工夫し、児童が椅子に座ったときに頭と頭が1m以上になるようにする。②リコーダーと鍵盤ハーモニカを室内で使用しない。③家庭科の調理実習は中止。④歯磨きの中止。

⑤グループ学習(観察・実験も含む)は10分以内。⑥室内での密集・接触する運動の制限。その他にもこれまでの感染症対策の徹底を図っています。

行事等も心配されますが、安易に中止することなく、どのような手立てを取ればできるのかを考えて、簡素化も視野に入れながら実施する方向で検討しながら取り組んでいるところです。

☆研究授業 1/24 4年2組 理科



「金属のあたため方」の学習でした。正方形の銅板の端を熱して、銅板がどのように温まっていくのかを調べる学習です。子供たちはこれまでの生活経験や学習経験から仮設(予想)を立ててから実験に取り組みました。

保護者の皆様が小学生のころは、熱すると言えば、アルコールランプだったと思いますが、現在はガスコンロを使用します。これはマッチを日常的に使用しないようになったこと、アルコールランプは倒すとアルコールがこ

ぼれ、引火して危険であることが理由です。時代に合わせた学習指導要領(学校での学習の目標や内容を示すもの)の改定と共に、教材教具も変化してします。今年度の最後の研究授業でした。

☆縄跳び大会

コロナ禍の中、縄跳び大会の開催の有無を1月中旬から検討してきました。運動場で行う事、短縄は十分な距離をとること、長縄は、密集になるのでマスク着用の対策をすることで、実施することになりました。



5年 なわとび大会 短縄



1年 なわとび大会 長縄「8の字とび」

子供たちは毎日、練習に励んでいましたから、無事に開催できて本当によかったと思っています。

☆鳥栖北小の給食指導について

昨年度、給食を食べるのが苦手だったり、ゆっくり食べたりして、昼休みになっても教室で食べ続けるのを苦痛に感じている子どもたちがいました。そこで昼休みに教室に居残りして食べるにしても10分以内としていました。本年度10月からは、給食時間が終わったら、残食があっても全員が給食を片付けています。ただし、本人がどうしても食べたいと希望したときには10分間だけ給食時間を延長していいことにしています。栄養指導や偏食の指導は授業の中で行い、給食時間には行いません。現在、黙食で、給食が以前に比べて楽しい時間になっていないかもしれませんが、少なくとも苦痛な時間にしたくないという願いからです。ご理解の程よろしくをお願いいたします。